

博物館情報・メディア論 E-LEARNING⑥

展示とメディア

学修到達目標

- 「言語知」と「実物知」の違いについて説明できる
- 「展示は総合的なコミュニケーションメディア」とは
 どのようなことか説明できる
- 展示に利用される情報メディアについて、事例を
 複数挙げるができる

『眼に訴へる教育機関』(1930)

— 棚橋源太郎 —

- 棚橋源太郎(1869-1961)著
- ()

『メディアとしての博物館』(1987) —梅棹忠夫—

- 博物館は()と表現
「()」
- 海外では、
「()」
・・・という言葉で表現した人も

「言語知」ではなく「実物知」

- ()
- 「実物知」は、多様な資料を()
で形づくられるといわれる

展示は 総合的なコミュニケーションメディア

- 展示は()など多様な情報を
内包している
+ 実物、体験なども加わる
()

学芸員⇒メディア⇒来館者

- 展示のメッセージを多様な情報メディアにより伝える

⇒()

◎ ()

◎ インスタレーション と インタラクティブ

展示に利用される情報メディア

展示で使われる さまざまなメディア

- 資料系展示

()

- 情報系展示

()

- ヒューマンリレーション系展示

()

キャプション・パネル

印刷物

音声による解説

- 展示の前でボタンを押す



- ()

しかし！

一番多く用いられているのは()

博物館の映像展示

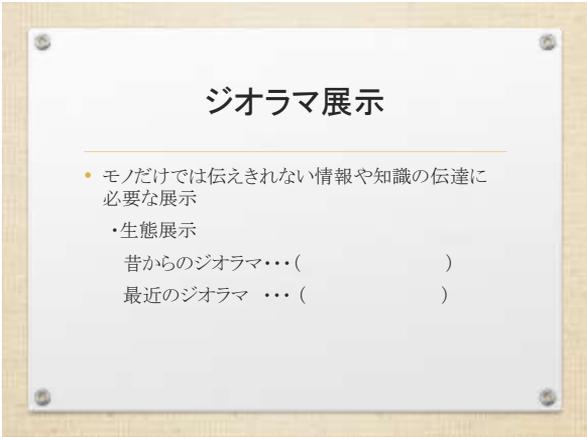
- 文字による伝達とは違った特性をもつ

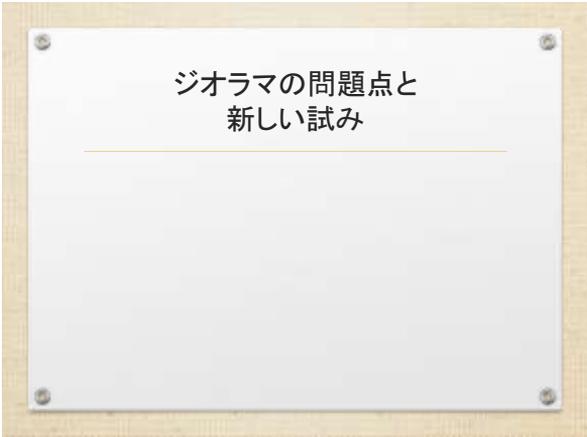
資料が主役である

たとえば

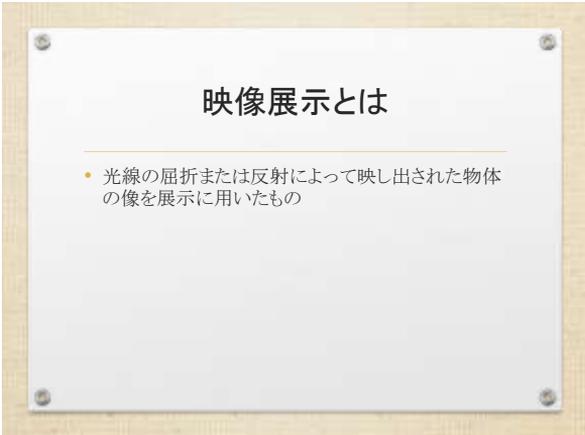
- ① 1→2→○→4→○
- ② 2→○→6→○→10
- ③ 北→本→四→○→沖

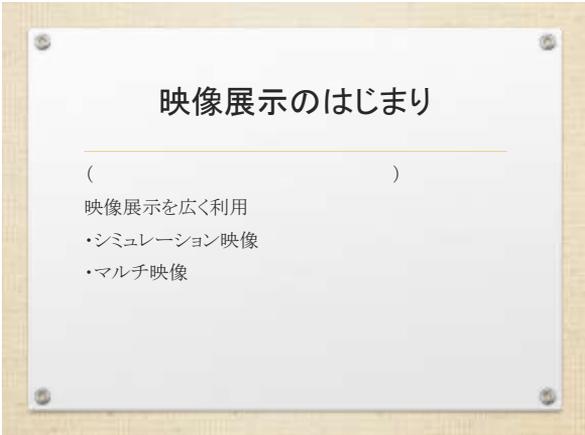












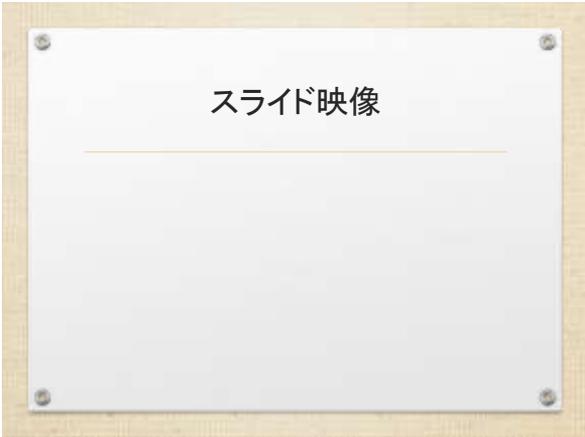
映像展示の分類

丹青総合研究所『イベント・展示映像事典』1988

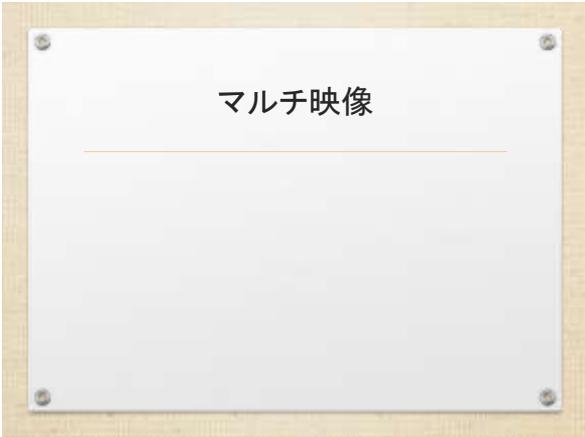
- 大型映像
- 立体映像
- スライド映像
- マルチ映像
- シミュレーション映像
- 特殊映像
- インタラクティブ映像

大型映像

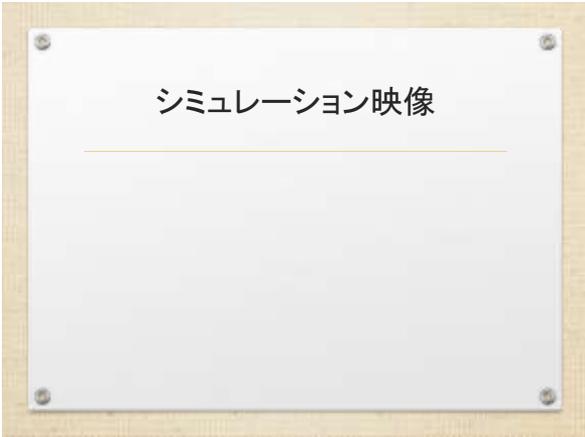
立体映像



スライド映像

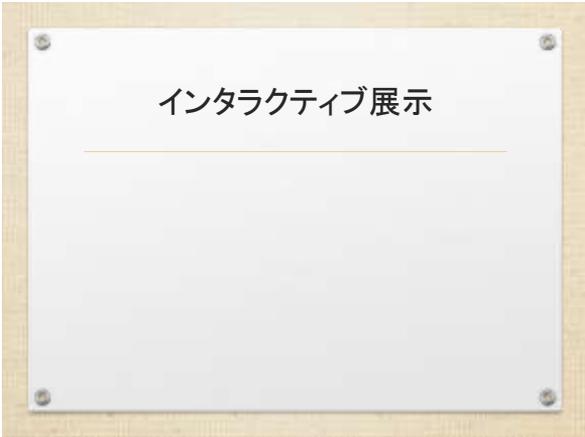


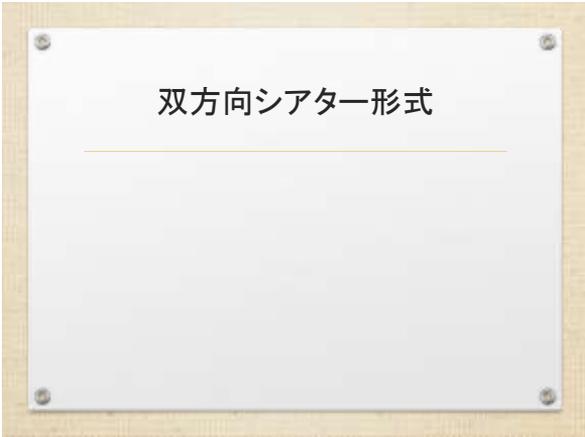
マルチ映像



シミュレーション映像







検索型システム形式

映像機器の配置

- 来館者の視点
ヒトの目
・・・直立の状態の目の高さで、()

床への映像展示

収蔵庫の映像展示

映像展示の参加型要素
